

中間期ディスクロージャー誌

I N T E R I M D I S C L O S U R E

2012

Hokuhoku Financial Group, Inc.

HOKURIKU HOKKAIDO Tokyo · Nagoya · Osaka



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

ごあいさつ

皆さまには、日頃より当社およびグループ会社に格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

ここに、ほくほくフィナンシャルグループの「中間期ディスクロージャー誌2012」をお届けいたします。

本誌は、平成24年度中間期の業績をご紹介します。ぜひご一読いただき、当社に対するご理解の一助としていただければ幸いです。

さて、わが国の経済は、復興需要の本格化により国内需要が底堅く推移しているものの、欧州債務問題の深刻化、新興国経済の減速、円高進行など、取り巻く環境は依然として不透明感が強く、景気回復の足取りは鈍化しております。

こうした中、当社グループでは「地域に親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指して、お客さまの心に寄り添った金融サービスの提供に努めております。

傘下の北陸銀行では、金融円滑化法の最終年度にあたり、経営改善支援の取り組みとして、経済産業省の中小企業支援ネットワーク強化事業に基づいた経営相談会を北陸三県延べ124カ店で開催し、新規事業や販路拡大、海外展開などの経営相談を承っております。また、北海道銀行ではシンクタンク機能の発揮を通じて地域の発展、活性化に寄与することを目的として100%子会社の「株式会社道銀地域総合研究所」が事業を開始いたしました。

資本政策面では、資本効率の向上を図るため、平成24年



取締役社長 高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 堰 八 義博
(北海道銀行 頭取)

5月から9月にかけて約59億円で計5千万株の自己株式を取得いたしました。引き続き株主価値の向上を図ってまいります。

平成24年度は中期経営計画“Road to 10”の最終年度にあたり、計画の3本の柱である「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」と預金量10兆円の金融グループ実現に向け一層の経営努力を重ねるとともに、「地域共栄」の精神で地域のお客さまとともに発展していくことを目指してまいります。

今後とも、変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成25年1月

■ 経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 ▶ 社会的使命を實踐し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 ▶ 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 ▶ 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

■ コーポレートマーク



垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表しています。

C O N T E N T S

01 ごあいさつ

03 業績ハイライト – 北陸銀行

05 企業概要

02 業績ハイライト – ほくほくフィナンシャルグループ

04 業績ハイライト – 北海道銀行

06 財務データ